

あ ま か け
天 翔 る 竜

3年 第14号

～浜松市立清竜中学校第3学年学年通信～ 発行：令和 5年 1月12日

いよいよ受検本番！「2学期終業式・3学期始業式」の代表生徒の言葉から読み解くその心構え。

2学期を振り返って 川島 澄夏

私は、2学期にがんばったことが2つあります。

1つ目はテスト勉強です。今学期は、定期テストが2回、学力調査も2回ありました。私は1学期まで、受検はまだ先のことだと思って1学期の期末テストの勉強を先延ばしにしてみました。その結果、納得のいく良い結果にはなりませんでした。

そこで、2学期は、しっかりと計画を立てるだけでなく、1教科50分という時間を意識して、時間を計って勉強しました。そのため、今までより質の高い勉強ができたと感じました。結果はもう少し勉強しておけばよかった…と思う教科もありましたが、1学期よりも満足のいく結果になったので、嬉しかったです。工夫と努力は必ず結果につながると感じました。

2つ目は、合唱コンクールです。私は、指揮者として合唱コンクールに参加しました。指揮者は、思った以上に大変で、全てのパートの楽譜を頭に入れなければなりません。私は、時間に少し余裕がある時パート別の音源を聴きました。練習では、各パートのできていない部分に気づくと、パートの人たちと一緒に改善していきました。

クラスの人たちも、少しずつやる気を出して、良い方向に向かっていきました。結果は惜しくも1位ではなかったのですが、練習をするなかで、クラスメイトの良い所が見つけられたので良かったです。

私は、この2つの経験を通して、計画する力とまとめる力が身につきました。この力を、今後の生活に生かしたいと思います。3学期はいよいよ受検本番となります。受検勉強を計画的にすすめ、志望校に合格し、悔いを残さない中学校生活を送りたいと思います。

3学期の決意 山下 良太

この3学期、僕には超えなければならない「山」が2つあります。

1つ目は「受検」です。学力検査のための勉強はもちろん、面接試験のための準備もしなければなりません。9教科の評定が出てしまった今できることは、学力検査の点数を1点でも上げるように努力することです。そのために、今学んでいる学習内容が学力検査に出る、という意識で授業に参加すること、1年から3年2学期までの総復習をすることです。得意分野、不得意分野を明らかにし、集中的に取り組みたいです。また、面接試験のために、予想される質問の答えを考えるだけでなく、入退室や礼の仕方、言葉遣いや態度も自然にできるようになるようにしていきたいです。2月の私立高校、3月の公立高校の試験に万全の準備をして、合格を勝ち取りたいです。

2つ目は、「別れ」です。3月には卒業式があり、清竜中学校を離れます。授業や部活動で指導して下さった先生方、部活動で一緒に活動した後輩、専門委員会で仕事を教えた後輩、そして、同級生の仲間たちと別れを告げるのです。この別れを経験することは、僕にとって大きな山を越えることとなります。

3学期は、ステージ目標「感謝」を常に心に置きながら生活したいと思います。卒業してしまうと、清竜中学校の人たちとほとんど会うことがなくなると思います。受検勉強で頭がいっぱいになり、他の人たちへの気遣いを忘れないようにしたいと思います。さらに、受検を支えてくれる家族や先生方に「日々の感謝」を伝える言動を心掛け、胸を張って清竜中学校を卒業し、高校生活につなげたいと思います。

